

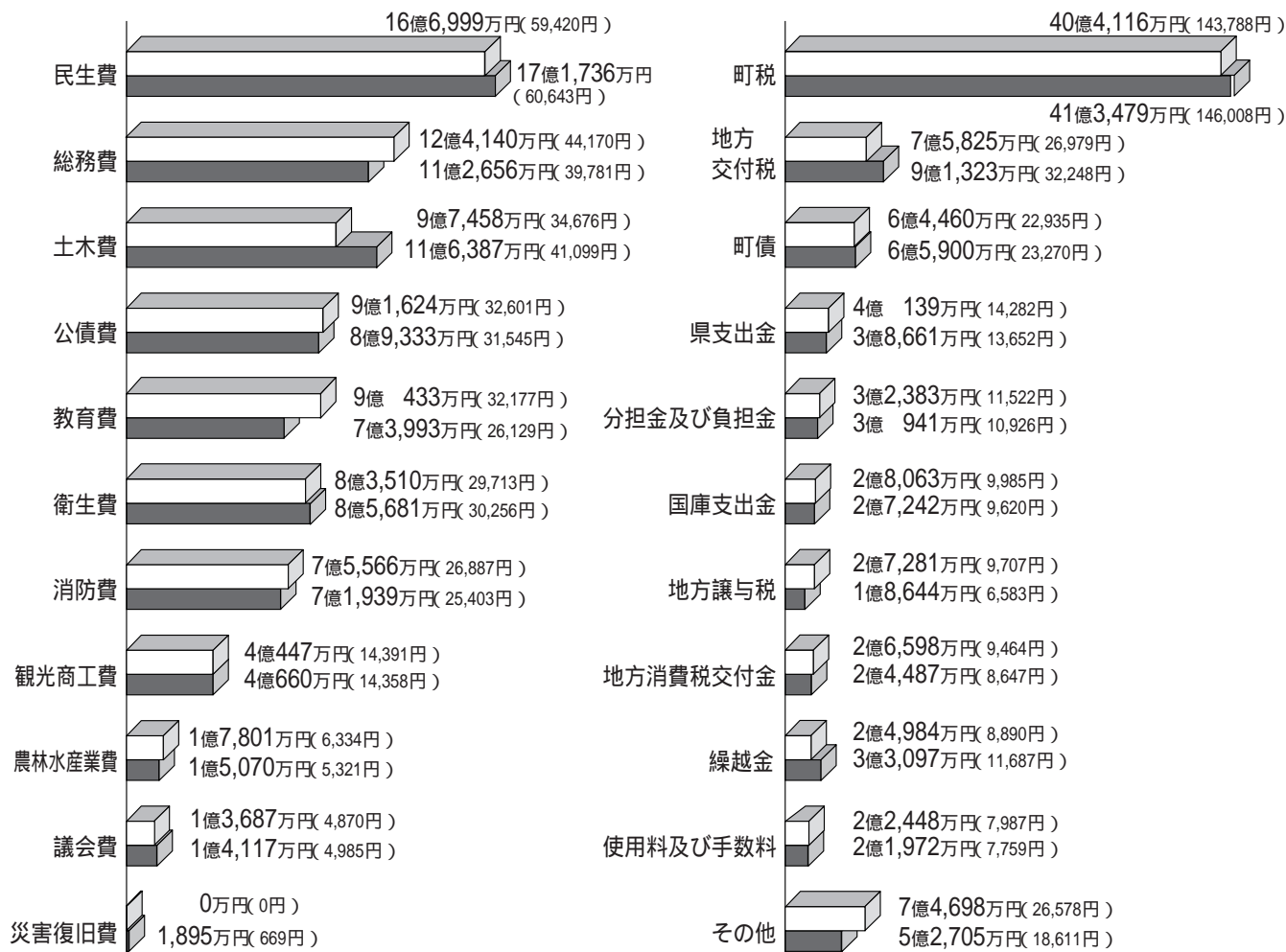
歳出

平成18年度
 平成17年度
 ()内は町民一人当たりの金額

歳入

総額80億1,665万円 (285,239円)
前年度79億3,467万円 (280,189円)

総額82億 995万円 (292,117円)
前年度81億8,451万円 (289,011円)



H19.3.31現在人口28,105人 (外国人登録含む)

人件費や公債費などの義務的経費や、普通建設事業費などの投資的経費のように、経費の経済的性質に着目した歳出の分類である性質別分類は、ホームページで公開しています。

* 町債と公債費 *

歳入の町債とは、町が大きな事業をするために借り入れるお金のことで、これに対し歳出の公債費とは、この町債を返済するためのお金のことです。

平成18年度、町債を財源とした事業は、消防庁舎耐震化、町道宮下32号線・千歳通り2号線道路改良や小学校校舎等耐震化等です。これらは長期にわたって利用されますので、将来にわたり少しずつ返済していきます。これは現在利用する人と将来利用する人が公平に負担しあうということです。

平成18年度末の一般会計の町債残高は、80億3,838万円で前年度末(81億1,711万円)と比べて7,873万円の減となりました。

お知らせ

平成18年度のバランスシートと行政コスト計算書は11月号の広報に掲載予定です。